

第3回 中央区地域ケア研究集会

在宅医療推進のための地域における多職種研修会

プログラム

- 中央区の多職種協働を考える -

地域包括ケアに向けて～中央区で安心して住み続けるために～

日時 平成25年12月21日(土)

場所 中央区民センター(中央区役所隣)

大阪市中央区久太郎町1-2-27 TEL:06-6267-0201



12:00

ランチョンセミナー受付開始

12:30

ランチョンセミナー

「万病の元・糖尿病予防の
食事について」

講師：^{たぬひさやすこ}為房恭子 先生

相愛大学 人間発達学部発達栄養学科 教授

特定非営利活動法人ケアプランニングNEST 代表

糖尿病の予防をテーマに、実際に食べて

学ぶセミナーです(弁当付き/参加料必要/限定

30食・先着順/事前申込要)

福祉用具展示コーナー

(無料 12:30~15:00)

福祉用具セミナー(各2回)

『負担の少ない、
安全な移乗動作』

12時~、13時~

『褥瘡ケアと床ずれ防止用具
の使い分けについて』

12時半~、13時半~

(いずれも1講座30分)

13:30

受付開始

14:00

開会

14:10

基調講演：「ここまできた認知症ケア」

講師：宮崎 和加子 先生(全国訪問看護事業協会 事務局長)

山形県生まれ。東京大学医学部付属看護学校卒業後、健和会・柳原病院にて訪問看護に従事。1992年、東京都第1号となる北千住訪問看護ステーションを開設し、所長を務める。2000年より、社会福祉法人すこやか福祉会でグループホーム開設、運営に取り組み、ホーム長などを歴任。認知症の人への支援の在り方を探求されている。「大逆転の痴呆ケア」など著書多数。

15:10

休憩

15:20

事例発表

座長 安田光隆(大阪市中央区南医師会 会長/安田クリニック院長)

栄木教子(大阪府訪問看護ステーション協議会副会長)

発表事例

順不同・敬称略 事例の内容・順序は変更になる事があります。

1. 「愛犬とともに最後まで在宅を望む療養者を多職種で支援して
～訪問介護の役割～」
中央区訪問介護・訪問看護事業者連絡会 介護部会 藤井昭子
(えがお中央 サービス提供責任者)
2. 「すき焼き食べたい」を多職種連携で支えた事例
中央区居宅介護支援事業者連絡会 田村満子
(田村ソーシャルネット 代表)
3. 「在宅での看取り」
中央区訪問介護・訪問看護事業者連絡会 看護部会 酒井敦子
(ぷらっと訪問看護ステーション)
4. 「デイで最期を迎えたい」を望む方を支える
中央区通所介護事業者連絡会 原賀由美
(コープデイサービス ほのぼの)
5. 「多職種・多事業所での振り返り」
大阪市中央区南医師会 寺内 勇(寺内クリニック 副院長)
6. 「薬剤師の在宅訪問における課題と多職種連携の必要性」
中央区東薬剤師会 牧村実香(谷町センター薬局)
7. 「認知症で、医療・生活支援拒否の独居高齢者が
多職種連携につながるまで」
中央区地域包括支援センター 北風知加
8. 「『帰りたいけど、でも...』
～虐待対応における多職種連携と本人の思い～」
中央区北部地域包括支援センター 酒井健志

事例の内容・順序は変更になる事があります。

- 17:40 グループワーク 講評：浅田診療所 浅田院長
座長：中林クリニック 中林院長、西谷歯科 西谷院長
- 18:30 閉会
- 19:00 合同懇親会

主催 大阪市中央区東医師会、大阪市中央区南医師会
共催 大阪市東歯科医師会、大阪市南歯科医師会、中央区東薬剤師会、中央区南薬剤師会、中央区居宅介護支援事業者連絡会、中央区訪問介護・訪問看護事業者連絡会、中央区通所介護事業者連絡会、COCOネットちゅうおう(中央区認知症支援ネットワーク)、中央区地域包括支援センター、中央区北部地域包括支援センター
協賛 株式会社ウィズ、宅配クック123(株式会社シニアライフクリエイト)、ニコニコキッチン(株式会社ソーシャルクリエイション)、まごころ弁当(株式会社シニアライフ)、有限会社上六米穀、ライフマーク天王寺(株式会社上六調剤薬局)
後援 中央区役所、中央区保健福祉センター